

【学校評価の結果】

1. 学生による授業評価、臨地実習評価

令和5年度に専任教員が担当した授業及び臨地実習について、学生から以下の評価を得ました。

<4段階評価>とてもそう思う4、そう思う3、そう思わない2、全くそう思わない1

1) 講義について（1、2年生の講義において専任教員が評価を得た授業科目の評価の平均点）

評価項目	評価の平均値
学習目標や講義計画が明確であった	3.96
時間や内容配分がよかった	3.95
教員の説明は、具体的でわかりやすかった	3.96
教員は、学生の興味を引き出すような工夫をしていた	3.98
学生が質問しやすく、答えも丁寧であった	3.96
教材教具は効果的であった	3.97
この講義は興味・関心が深まる内容だった	3.96

2) 臨地実習について（2年生の領域実習すべての評価の平均点）※ただし、統合実習を除く

評価項目	評価の平均値
カンファレンスでは、積極的に自分の考えを述べる事ができた	3.55
カンファレンスでは、他者の意見を聞き入れ、他者の多様な価値観を認める事ができた	3.69
行動計画・援助について、教員から適切な助言・指導が得られた	3.81
カンファレンスでは、教員から適切な助言・指導が得られた	3.86
看護過程の展開について、教員から適切な助言・指導が得られた	3.86
教員は学生が理解しやすい言葉や方法で指導していた	3.87
教員は学生の気持ちや考えを受け止め尊重していた	3.89
教員は看護者としてモデルになっていた	3.85
教員は学生の実習が円滑に進むように、適宜調整をしていた	3.89
教員と指導者間で指導の方向性がずれないように連携がとれていた	3.79
全体として充実した実習だった	3.78

2. 卒業時まで身に付けておく能力（到達目標）の修得状況（学生自己評価）

全実習終了後の2年生（17名）から、卒業時まで身に付けておく能力（到達目標）に対する自己の修得状況について調査しました。【回収数：15名（回収率：88.2%）】

<4段階評価>よくできている まあできている あまりできていない ほとんどできていない

単位：人

卒業時まで身に付けておく能力	よくできている	まあできている	あまりできていない	ほとんどできていない
1. 対象の尊厳・権利を守り、倫理に基づき責任ある行動をとる	8	7	0	0

2. 科学的根拠に基づいて、対象に応じた安全・安楽な看護を実践する	6	9	0	0
3. 実践した看護を客観的な根拠に基づき振り返り、自己の成長に繋ぐ	7	8	0	0
4. 看護への探究心を持ち、自らの課題解決に向け、主体的に学習し続ける	4	11	0	0
5. 人々の多様な価値観を受け入れ、対象に寄り添い、思いに共感する	10	5	0	0
6. 他領域の職種と連携・協働し、チームで働く一員としての基礎的な能力を持つ	4	11	0	0

### 【学校関係者評価委員会からの意見、今後の課題】

令和5年度の当校の自己評価結果をもとに、学校関係者評価委員会を開催し、以下の意見を得ました。

- (1) 学生のレディネスや背景が様々であるが、学生のこれまでの経験や考え方を認め、尊重し、個々の学生の背景を踏まえながら、丁寧な関わりをしてほしい。
- (2) 学生からの授業アンケートではとても良い結果が得られ、実習アンケートでも有意義な実習ができており、良い教育活動が行えていると評価できる。今後も継続してほしい。
- (3) 学生のインシデント報告を分析し、実習施設や学生と共有しており、それぞれのリスク感性の強化に繋げることができている。今後も、臨床と連携し、学生の学びやリスク感性が高まるよう継続してほしい。
- (4) 看護への動機づけや学生の主体性、看護観を育むための取り組みを多く行い、振り返りまで行えており高く評価できる。今後も、看護を考える機会を多く与え、様々な経験や体験ができるよう取り組んでほしい。